

補助事業評価シート

番号	55	章	施策32 商店街の活性化
----	----	---	--------------

補助事業名	新宿区商店会連合会への事業助成	所管部課	地域文化部産業振興課	事業開始年度	平成17年度
根拠法令(要綱)等	産業振興に係わる団体に対する事業補助金交付要綱				
19年度決算額 補助率	690,000 円 2/3	補助対象団体(者)	新宿区商店会連合会		
補助することで達成しようとしている区の目的	区内全体の商店会の振興、発展を目指します。				
団体(者)に対する直接の助成目的	新宿区商店会連合会が実施する事業(「こだわり大賞」事業)に助成することで、にぎわいのある商店街づくりを支援し、区内商店街の発展と地域商業の活性化を図ります。				
補助金の申請	補助金の交付申請にあたって提出する書類・添付書類 提出書類: 交付申請書 事業計画書 経費明細書(申請用) 添付書類: 前年度事業報告書・収支決算書 当該年度事業計画書・収支予算書 見積書等(10万円以上の経費) 会規約 役員名簿	補助金の清算/実績報告	清算/実績報告にあたって提出する書類・添付書類 提出書類: 実績報告書 事業実績書 経費明細書(報告用) 添付書類: 経費請求書 経費領収書 記録写真 作成物(ポスター等) その他必要と認めるもの		
	審査の体制・考え方(区職員による審査又は公募委員を入れての審査、補助金の目的とする具体的な取組内容を記載した事業計画書を提出しているか・どのように審査しているか等) 申請書の事業内容(計画)が補助金交付の目的に適っているかどうかを審査します。		審査の体制・考え方(清算/実績報告時の審査体制、助成の目的・決定内容に照らして、自己評価・活動成果の公表状況を踏まえ、予定していた目的・成果が達成できたか・どのように審査しているか等) 実績報告書の事業内容及び提出書類内容を審査し、必要に応じ、成果が補助金交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するか調査します。		
今後の課題	この補助事業による集客力のあるこだわり店舗を増やすために、「こだわり大賞」受賞店の効果的なPRや、受賞することに対するメリットなどを工夫して周知し、にぎわいのある商店街づくりを推進していく必要があります。				
補助金の評価	<p>総合評価(A・B・C・D)とその理由 この補助金の総合評価はBです。</p> <p>理由は、表彰店舗数が年々減少傾向にあります。商店会の中の特色ある個店を発掘し表彰することで、集客力向上などの効果を図ることができたことです。また他の商店会にもその表彰効果が浸透するなど、少しずつではありますが事業助成することでにぎわいある商店街づくりを支援することができていると評価します。 平成19年度実績:9件(平成17年度実績:11件、平成18年度実績:10件)</p> <p>区と補助対象者との役割分担 区は、地域商業及び地域コミュニティに寄与した実績があるこだわり商店を表彰しその実績を効果的にPRすることで、その商店街への集客力を高めていく役割を担い、新宿区商店会連合会が事業の実施を担うものです。</p> <p>目標の設定 目標設定は、新宿区商店会連合会が補助事業を効果的に活用することで、商店街のにぎわい・集客力向上や地域の活性化に繋がり、区民ニーズを踏まえたもので適切です。</p> <p>代替手段・効率性 この補助事業は、商店街の持つにぎわいや魅力を来街者へPRすることができ、地域商業の発展を図るために効果的に活用されていることから、費用対効果から見て、効果的・効率的に行われていると言えます。</p> <p>目標の達成状況 この補助事業は、地域商業の発展に向けた新宿区商店会連合会の主体的な取組みに区が支援した結果、商店街におけるにぎわいや魅力を高める効果があることから、区民ニーズに対して十分に応えることができたと考えます。 ただし、受賞店舗数が減少傾向にあるため、今後は事業がより効果的に実施されるよう支援していきます。</p>				
今後の改革方針	本事業が商店街の活性化に向けて更なる効果を発揮するために、新宿区商店会連合会に対し、HP等を効果的に活用するなど、PRの強化を促すとともに、「商店会サポート事業」などと連携し、より事業が充実するよう助言を行っていきます。				